

呉工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	情報処理Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0155			科目区分	専門 / 選択必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気情報工学科			対象学年	2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	長谷川聡, 「よくわかるC言語」 (近代科学社)						
担当教員	横瀬 義雄						
到達目標							
1. 配列を用いたプログラムを作成できる 2. 組み込み関数の使い方や関数の作り方を理解する 3. ポインタについて知り、使い方や受け渡しにつて理解する 4. ファイルを用いたデータの入出力が行える 5. 構造体・共用体を理解する							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	ユーザ定義関数の応用ができる		ユーザ定義関数の作成ができる		ユーザ定義関数の作成ができない		
評価項目2	文字・文字列の使い方を理解し、文字の関数を作ることができる		文字・文字列の使い方を理解し、文字の関数を使うことができる		文字・文字列の使い方を理解し、文字の関数を使うことができない		
評価項目3	アドレスとポインタを理解し、応用できる		アドレスとポインタを理解できる		アドレスとポインタを理解でない		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HB)							
教育方法等							
概要	C言語によるプログラミング技術を身につける。						
授業の進め方・方法	座学を中心に行い, 演習を行いながら理解を深める。						
注意点	プログラミングは慣れと経験が重要です。時間の許す限りなるべく多くの訓練をしてください。課題を持ち帰るためにUSBメモリを持ってくるようにしてください。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	引数なしのvoid型関数		関数を作る		
		2週	引数なし、戻り値のある関数		関数を作る		
		3週	引数のあるvoid型関数		関数を作る		
		4週	引数あり、戻り値のある関数		関数を作る		
		5週	引数あり、戻り値のある関数		関数を作る		
		6週	配列の使い方		配列の使い方を理解する		
		7週	多重配列の使い方		多重配列の使い方を理解する		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	答案返却・解答説明				
		10週	文字と文字列		文字と文字列を理解する		
		11週	文字操作関数と文字列操作関数		文字操作関数と文字列操作関数を理解する		
		12週	アドレスとポインタ		アドレスとポインタを理解する		
		13週	アドレスとポインタ		アドレスとポインタを理解する		
		14週	構造体とデータ構造		構造体とデータ構造を理解する		
		15週	期末試験				
		16週	答案返却・解答説明				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。		2	
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。		2	
				同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在しうることを知っている。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	30	0	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0